

各 位

上場会社名 株式会社 オーネックス
 代表者 代表取締役社長 大屋 和雄
 (コード番号 5987)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 鶴田 猛士
 (TEL 046-285-3664)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年8月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年6月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,280	274	273	166	10.03
今回修正予想(B)	4,968	94	105	65	3.98
増減額(B-A)	△311	△179	△167	△100	
増減率(%)	△5.9	△65.3	△61.3	△60.3	
(ご参考)前期実績 (平成25年6月期)	4,863	127	135	81	4.73

平成26年6月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,801	239	145	8.81
今回修正予想(B)	4,418	61	34	2.11
増減額(B-A)	△382	△177	△110	
増減率(%)	△8.0	△74.4	△75.9	
(ご参考)前期実績 (平成25年6月期)	4,362	111	139	8.13

修正の理由

(連結)

金属熱処理加工事業において売上が伸び悩み、またコスト面においてもエネルギーコストの上昇や、退職給付費用の増加により、業績予想を下回る見込みとなりました。

(個別)

金属熱処理業界において、円安の定着化により輸出環境は好転していますが、主力取引業界の海外生産体制は確立しており、輸出の伸びは低調であったため、自動車・建設機械向け売上が低調でした。

また、年度後半から工作機械を主体に売上は回復基調になりましたが、電力・ガスのエネルギーコストが大幅に上昇、退職給付費用の増加もあり、業績予想を下回る見込みとなりました。

(注)・業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる場合があります。

以 上